

【ウォークラリーとは】

大手企業の社員教育にも利用されており、コース図だけを頼りに、出題されている課題を解決しながらゴールを目指す屋外ゲームである。

1)コース図

コース図は一定のルールに則って作成されており、しっかりとコース図を見ながら進まない、必ず迷子になるようになっている。

2)チェックポイント

コースには何箇所かチェックポイントがあり、そこで出題される課題をクリアしながら進む。また、チェックポイント間の規定時間が決められており、早く行っても遅く行っても減点になる。

3)イベントゾーン

コースの一部にイベントゾーンを設け、そこで起こる出来事についてコース終盤で問題が出題される重要ゾーンである。

【ウォークラリーのポイント】

①コースについて

- ・コースはエリアの中でいくつかのわかれ道を選びながら 1 時間程度でスタート地点に帰って来れるような構成とする。
- ・参加人数によっては2から3のコースを作成し、人についていけばゴールにたどり着けるということを極力回避する。

②チェックポイントについて

- ・①でコースが増えた場合もチェックポイントは共用。
- ・チェックポイントには必ずメンバーを配置し問題の提供を行う

③チェックポイントでの課題について

- ・親限定の課題、子供限定の課題、親子で力を合わせてクリアする課題を設け、協力しなければゴールにたどり着けないようなしつらえを行う
- ・単純にクイズのような問題や、「近くのお店で名刺をもらってくる」等、実際に行わなければならないような課題をメインにする